

令和3年度第2回 袖ヶ浦市地域総合支援協議会 会議録要旨

- 1 開催日時 令和4年3月  
書面発送日 令和4年3月15日

- 2 開催場所 書面会議

- 3 出席委員（書面を送付した委員）

会 長	関口 幸一	副会長	石井 啓
委 員	手塚 正二	委 員	関口 三枝子
委 員	千木良 俊彦	委 員	及川 和範
委 員	島津 太	委 員	高野 圭介
委 員	剣持 敬太	委 員	増田 衣美
委 員	竹元 悦子	委 員	大出 敏文
委 員	渡邊 昭宏	委 員	大熊 賢滋
委 員	藤本 司	委 員	高橋 裕
委 員	重田 克己	委 員	瀧澤 真
委 員	今関 磨美		

- 4 議 題

- (1) 実務者会からの活動報告について 【資料①】  
(2) 相談支援部会からの活動報告について 【資料②】  
(3) 袖ヶ浦市相談支援事業所の実績報告等について 【資料③、④】  
(4) 地域生活支援拠点の整備について 【資料⑤】

- 5 議 事

本会議は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面会議にて開催した。

袖ヶ浦市地域総合支援協議会会長 様

# 報 告 書 (案)

令和4年3月15日

袖ヶ浦市地域総合支援協議会実務者会

## 1 はじめに

実務者会では、令和2年3月24日の袖ヶ浦市地域総合支援協議会の指示にもとづき各チームが活動を行いました。

今年度、新型コロナウイルスの感染拡大を受けながらも、5月に第1回実務者全体会を開催、9月に予定していた2回目の実務者全体会は中止となりましたが、2部制にするなど感染防止対策をしっかりと行った上で、10月8日に第2回実務者全体会を行いました。

コロナ感染予防対策が求められ、メンバーが全員集まって会議をすることが非常に困難な中、それぞれのチームが工夫をしながら主体的に活動を行って参りました。

今年度の報告として、その検討内容についてご報告します。

## 2 検討状況

資料1のとおり。

## 3 報告

### (1) 各チームの報告の概要

子どもチーム	○「サポートファイル」の周知、普及について ・周知、普及するための検討（配付場所、配布時期など） ○袖ヶ浦市の子育ての課題について ・海側の人口増加に伴う課題 ・保護者からの育児相談からの課題（健康推進課、学校教育課、保育所など）
おとなチーム	8050問題については障がいがあるケースが多く、地域総合支援協議会おとなチームで取り上げてはと地域福祉課鹿間氏より提案があった。また、袖ヶ浦市でもこのようなケースが増えている実態があった。「引きこもり」という表向きだが、様々な問題が芋づる式でつながっている。引きこもりから外へ出ることの支援については、すでに市原市及び木更津市等近隣市は動き出している。今年度は、前半は重層的支援体制整備事業について理解を深め、地域における課題を検討し、後半は既存のサロン等、地域の社会資源を活用するに当たっての検討を行っている。
高齢チーム	昨年度より検討していた、地域の相談機関の窓口一覧を完成させた。
災害チーム	今年度は自分たちが災害チームとして活動していくに当たり、袖ヶ浦市の避難所の設備や備品について知らないことが多く、まず自分たちが学ぶ機会を設けた。コロナウィルスの影響で思うように活動できない部分があったが、市役所防災安全課のメンバーを中心に避難所にあるダンボールベットや、テント、間仕切りを自分たちで組み立て実際に使用し、大変貴重

	<p>な体験をすることができた。また、根形公民館の防災資材備蓄倉庫の見学をする機会があり、いろいろな備品があることに大変勉強になった。実際に体験してみることで、災害用品を身近に感じることができ、障がいを持った方が利用した場合を想定することができた。災害が発生した時に安心して避難してもらえるようにこの情報を多くの方に知ってもらえるよう「避難所体験」とまとめポスターを作成した。</p>
普及啓発チーム	<p>メンバーの思いを一つにするため、総合支援実務者会と普及啓発チームの成り立ちを知り、活動内容を模索することから活動を始めた。</p> <p>現状の問題点を洗い出す中で、他チームの活動を紹介及びリンクして活動することも、普及啓発チームの活動であるとして活動した。</p> <p>会長、大人チーム、災害チームの活動内容を聞き、普及啓発チームとしての活動を進めた。</p>
障がいのある方が外出しやすい街づくりチーム	<p>新型コロナウイルス感染拡大により、近隣の感染拡大、各事業所の感染状況及び業務の都合により例年どおりの開催が出来ず、実務者会全体会の参加のみとなった。</p> <p>今年度は、外出する際、障害のある方が利用できる外出サービスや移動支援について確認し、サービスをどうすればスムーズに受けることが出来るか、手順を見てわかるものを作成できれば良いのではないかと、チーム内で確認した。</p>

注 詳細は資料2のとおり

## (2) 全体に関する報告

昨年度からのチーム毎の課題を整理し、継続性を持ちながら活動が行われた。

## 4 提言

### (1) 各チームからの提言

子どもチーム	<p>○サポートファイルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サポートファイル」の活用について、子育てに関わる市行政機関、幼児教育施設及び療育施設、学校等に周知徹底をしていく。</li> <li>・市内療育施設や就学相談会にて配付する。</li> <li>・サポートファイルを電子で管理、活用できないか検討する。</li> </ul> <p>○療育支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・療育、言語の指導について、児童サービスセンターから嬉泉へ事業実施主体が変更になるため、今後の体制について確認、周知していく。</li> </ul>
おとなチーム	<p>引きこもっていた方が、社会参加をする第一歩としてのサロンを安心し</p>

	<p>て活用することが出来るよう、2月9日に行われる地区社協全体会に出席して説明する予定ではあったが、コロナ禍により中止となったことから、改めて日程を確認し、全体会の中で丁寧に説明していきたい。</p> <p>また、来年度も引き続き、引きこもっている方や生活困窮者をテーマに検討を重ね、地域の社会資源を活用出来るように取り組んでいきたい。</p>
高齢チーム	<p>市内の公共機関や相談支援機関などへ配布するほか自治会への回覧の依頼をした。各機関への発送や自治会への配布を袖ヶ浦市のチャレンジドオフィスへ委託していきたい。</p> <p>地域で暮らす障害者や家族が高齢化していくことによって起こる課題には、当事者のみならず家族を含めた包括的な支援が求められるケースがみられる。それぞれの福祉・介護サービスの知識や情報の共有をしていくことは今後も求められ、明確な区別をしていくことも難しくなっていくことが予想される。今年度作成した相談窓口一覧は、当事者や関係者が今まで関わらなかった他の支援について知るきっかけとなってもらいたい。次年度は今までの活動を含めて、障害者の高齢化に対してどのような活動が必要か検討していきたい。</p>
災害チーム	<p>ポスターは完成したが掲示場所の確定や決定には至らなかった。来年度に引継ぎ掲示場所や方法について検討し、多くの方に見て頂けるようにしたい。また災害チームとしてどのようなことができるか今後の活動の方向性を考えていきたい。</p>
普及啓発チーム	<p>他チームの活動内容を通して、特に災害が発生したときの一時避難、又は避難所での生活等、「災害チーム」の活動内容が参考となり、福祉フェスタ等を利用して実践に即した活動も、普及啓発につながるのではないかと感じた。</p>
障がいのある方が外出しやすい街づくりチーム	<p>今年度は、外出する際、障害のある方が利用できる外出サービスや移動支援について確認し、サービスをどうすればスムーズに受けることが出来るか、手順を見てわかるものを作成できれば良いのではないかと、チーム内で確認した。コロナ禍であるからこそ、安全・安心して外出できるよう来年度は実現に向けて、活動できればと考える。</p>

## (2) 来年度の活動について

新型コロナウイルスの感染予防対策を充分行いながら、今年度に引き続き、チーム別に上記の提言通り、検討をすすめるものとしたい。

## 検討状況

会議名	開催日時	会場	メンバー	参加人数	内容
運営会議	4月30日(金) 10:00～ 11:00	袖ヶ浦市役所旧館 3階中会議室	運営会議メンバー	10名	・今年度の活動の確認 ・実務者会、各チームメンバー 編成について
実務者全体会 第1部	5月28日(金) 9:50～ 10:50	袖ヶ浦市役所旧館 3階大会議室	実務者会メンバー ・子どもチーム ・おとなチーム ・高齢チーム	22名	・今年度の実務者会の活動計画 ・リーダーの選出など
実務者全体会 第2部	5月28日(金) 11:00～ 12:00		実務者会メンバー ・災害チーム ・普及啓発チーム ・街づくりチーム	21名	
リーダー会議 (中止)	9月10日(金) 10:00～ 11:00	袖ヶ浦市役所旧館 3階中会議室	各チームリーダー 運営会議メンバー		
実務者全体会 第1部 (中止)	9月17日(金) 9:50～ 10:50	袖ヶ浦市役所旧館 3階大会議室	実務者会メンバー ・子どもチーム ・おとなチーム ・高齢チーム		
実務者全体会 第2部 (中止)	9月17日(金) 11:00～ 12:00		実務者会メンバー ・災害チーム ・普及啓発チーム ・街づくりチーム		
本会議 (中止)	10月5日(火) 10:00～ 11:00	袖ヶ浦市役所旧館 3階大会議室	運営会議メンバー		
実務者全体会 第1部	10月8日(金) 9:50～ 10:50	袖ヶ浦市役所旧館 3階大会議室	実務者会メンバー ・子どもチーム ・おとなチーム ・高齢チーム	18名	・後期の活動計画について
実務者全体会 第2部	10月8日(金) 11:00～ 12:00		実務者会メンバー ・災害チーム ・普及啓発チーム ・街づくりチーム	17名	
リーダー会議 (中止)	2月25日(金) 10:00～ 11:00	袖ヶ浦市役所旧館 3階中会議室	各チームリーダー 運営会議メンバー		
実務者全体会 第1部 (中止)	3月4日(金) 9:50～ 10:50	袖ヶ浦市役所旧館 3階大会議室	実務者会メンバー ・子どもチーム ・おとなチーム ・高齢チーム		
実務者全体会 第2部 (中止)	3月4日(金) 11:00～ 12:00		実務者会メンバー ・災害チーム ・普及啓発チーム ・街づくりチーム		

## 子どもチーム 報告

### 1. 今期及び後期の活動内容のまとめ

- 「サポートファイル」の周知、普及について
  - ・周知、普及するための検討（配付場所、配布時期など）
- 袖ヶ浦市の子育ての課題について
  - ・海側の人口増加に伴う課題
  - ・保護者からの育児相談からの課題（健康推進課、学校教育課、保育所など）

### 2. 経過報告

○第1回 7月 12日（月）9：30～11：00 市役所旧館3階中会議室

出席人数： 7名

内容：・サポートファイルの配付  
・現在の課題と今後の活動

○第2回 8月 23日（月）9：30～11：00 市役所旧館3階中会議室

出席人数： 6名

内容：・各部署の状況についての報告  
・サポートファイルの活用状況  
・現在の課題と今後の活動

※コロナ感染症予防のため、会議を持つなど十分な活動ができなかった。

### 3. 提言

○サポートファイルについて

- ・「サポートファイル」の活用について、子育てに関わる市行政機関、幼児教育施設及び療育施設、学校等に周知徹底をしていく。
- ・市内療育施設に配付する。
- ・就学相談会にて配付する。
- ・サポートファイルを電子で管理、活用できないか検討する。

○療育支援事業について

- ・療育、言語の指導について、児童サービスセンターから嬉泉へ事業実施主体が変更になるため、今後の体制について確認、周知していく

## おとなチーム 報告

### 1、今期の活動内容のまとめ

8050問題については障がい絡んでいるケースが多く、地域総合支援協議会おとなチームで取り上げてはと地域福祉課鹿間氏より提案があった。また、袖ヶ浦市でもこのようなケースが増えている実態があった。「引きこもり」という表向きだが、様々な問題が芋づる式でつながっている。引きこもりから外へ出ることの支援については、すでに市原市及び木更津市等近隣市は動き出している。今年度は、前半は重層的支援体制整備事業について理解を深め、地域における課題を検討し、後半は既存のサロン等、地域の社会資源を活用するに当たっての検討を行っている。

### 2、活動経過

- 第1回      5月28日（金）    10:00～11:00      旧館3階大会議室  
出席者    6名  
内 容    実務者全体会：前年度の活動報告    リーダー・副リーダー選出    年間会議の日程調整
  
- 第2回      6月17日（木）    10:00～11:30      議会会議室第一  
出席者    8名  
内 容    国から指針が示された重層的支援体制整備事業について説明を受け、地域の課題を検討する
  
- 第3回      7月    8日（木）    10:00～11:30      議会会議室第一  
出席者    5名  
内 容    「地域共生社会のポータルサイト」から重層的支援体制整備事業について先進的な地域の取り組み事例に関する説明を受け、地域の課題を検討する
  
- 第4回      8月19日（木）  
出席者    0名（緊急事態宣言発令中の為、中止）
  
- 第5回      9月17日（金）  
出席者    0名（緊急事態宣言発令中の為、中止）
  
- 第6回      10月    8日（金）    10:00～11:00      旧館3階大会議室  
出席者    7名  
内 容    実務者全体会：前半のまとめ、後半の活動について
  
- 第7回      11月    18日（木）    10:00～11:30      議会会議室第二  
出席者    7名  
内 容    引きこもっていた方が、社会参加するに当たって活用出来る地域の社会資源についての検討
  
- 第8回      12月    16日（木）    10:00～11:30      議会会議室第一  
出席者    8名  
内 容    引きこもっていた方が、社会参加するに当たって活用出来る地域の社会資源についての検討
  
- 第9回      1月    13日（木）    10:00～11:30      議会会議室第一

出席者 6名

内 容 第7回及び第8回の会議において、地域の社会資源について、新しく作るのではなく、市内で既に活動しているサロンを活用することでチーム内の意見がまとまったことから、社会福祉協議会にサロンを活用したいことをお伝えする。担当者から2月9日に行われる地区社協全体会に出席し、説明することで了承が得られたことから、当日、説明するための文言を検討する。

○第10回 2月 10日（木）

出席者 0名（まん延防止等重点措置発令中の為、中止）

### 3、提言

引きこもっていた方が、社会参加をする第一歩としてのサロンを安心して活用することが出来るよう、2月9日に行われる地区社協全体会に出席して説明する予定ではあったが、コロナ禍により中止となったことから、改めて日程を確認し、全体会の中で丁寧に説明していきたい。

また、来年度も引き続き、引きこもっている方や生活困窮者をテーマに検討を重ね、地域の社会資源を活用出来るように取り組んでいきたい。

## 高齢チーム 報告

### 1、今期及び後期の活動内容のまとめ

昨年度より検討していた、地域の相談機関の窓口一覧を完成させた。

### 2、活動経過

○ 第1回 5月28日（金）9:50～10:50 実務者全体会袖ヶ浦市役所大会議室

出席者：6名

内 容：今年度の活動についての検討

○ 第2回 7月12日（月） コロナ禍のため中止

○ 第3回 8月23日（月）13:30～14:30 袖ヶ浦市議会中会議室

出席者：5名

内容：前期の活動報告の内容についての確認

後期の活動についての流れ、窓口一覧の内容、周知方法についての確認

○ 第4回 10月8日（金）9:50～10:50 袖ヶ浦市役所大会議室

出席者：5名

内容：窓口一覧の取り扱いについて。配布までの流れについて。

○ 第5回 11月8日（月） 欠席者多数のため中止

○ 第6回 12月13日（月）13:30～14:30 会議室

出席者：5名

内容：掲載先機関へ送る文面の確認。配布物の見積もりについての確認。

○ 第7回 1月17日（月） コロナ禍のため中止

○ 第8回 2月14日（月）13:30～14:30 袖ヶ浦市役所中会議室

出席者：5名

内容：窓口一覧の内容の修正。配布についての情報共有。

### 3、提言

市内の公共機関や相談支援機関などへ配布するほか自治会への回覧の依頼、また各機関への発送や自治会への配布を袖ヶ浦市のチャレンジドオフィスへ委託していきたい。

地域で暮らす障害者や家族が高齢化していくことによって起こる課題には、当事者のみならず家族を含めた包括的な支援が求められるケースがみられる。それぞれの福祉・介護サービスの知識や情報の共有をしていくことは今後も求められ、明確な区別をしていくことも難しくなっていくことが予想される。今年度作成した相談窓口一覧は、当事者や関係者が今まで関わらなかった他の支援について知るきっかけとなってもらいたい。次年度は今までの活動を含めて、障害者の高齢化に対してどのような活動が必要か検討していきたい。

こころやからだ、お金<sup>かね</sup>についての相談窓口<sup>そうだんまどぐち</sup>

1人で悩んだり、ご家族だけで抱え込んだりしていませんか？まずは一度ご相談ください。

機関名	相談(そうだん)できる事(こと)	連絡先(れんらくさき)など
市役所	<b>【介護保険について】</b> 介護保険の資格・認定、介護サービスなどの相談ができます。	豊袖ケ浦市役所 介護保険課 <b>☎0438-62-3206</b> 平日8:30～17:15
	<b>【高齢者の福祉サービスについて】</b> 高齢者タクシー利用者の助成、緊急通報システムの貸与、はり・きゅう・マッサージ施術費の助成、紙おむつ等の支給などの相談ができます。	豊袖ケ浦市役所 高齢者支援課 <b>☎0438-62-3219</b> 平日8:30～17:15
	<b>【障がい者の福祉サービスについて】</b> 身体・知的・精神障がい者(児)の福祉サービスの利用申請、認定などの相談ができます。	豊袖ケ浦市役所 障がい者支援課 <b>☎0438-62-3187</b> 平日8:30～17:15
じりつそうだん <b>自立相談</b>  しえんしつ <b>支援室</b>	<b>【生活困窮・ひきこもりについて】</b> 経済的に困っている方や、ひきこもりの状態にあるご家族がいる方からの相談を受けています。	豊袖ケ浦市役所 地域福祉課内 <b>☎0438-62-3159</b> 平日8:30～17:15
<b>えがお</b> そでがうら <b>袖ケ浦</b>	<b>【障がい者についての総合相談窓口】</b> 障がいのある方や、そのご家族等からの相談を受け、必要な情報提供や助言等を行います。	豊袖ケ浦市役所内 袖ケ浦市障害者相談支援事業所 袖ケ浦市基幹相談支援センター <b>☎0438-62-3334</b> 平日9:00～17:00
ちいきほうかつ <b>地域包括</b>  <b>支援</b>  <b>センター</b>	<b>【高齢者についての総合相談窓口】</b> 高齢の方が安心して生活を続けていただけるよう、介護や生活のこと、お金の管理のことなど、さまざまな相談をお受けします。ご本人やご家族だけでなく、ご近所の気になる高齢者についての相談をすることもできます。また、成年後見制度についてのご案内も行います。	昭和 ・ 根形 豊袖ケ浦市役所 高齢者支援課内 <b>☎0438-62-3225</b> 平日8:30～17:15 ながうら 長浦 ・ 蔵波 豊長浦おかのうえ図書館1階 ながうらサブセンター <b>☎0438-64-2100</b> 平日8:30～17:15 ひらおか 平岡 ・ 中富 豊平川公民館内 ひらかわサブセンター <b>☎0438-75-3344</b> 平日8:30～17:15
ほけんしよ <b>保健所</b>	<b>【心の健康相談】※予約制です。</b> 精神障害がある方やそのご家族からの相談、その他心の健康に関する相談に精神科医が専門的な立場から個別に助言を行います。	豊君津保健所 <b>☎0438-22-3744</b> 毎月第1木曜日 14:00～16:00 毎月第3月曜日 13:00～15:00
しゃかいふくし <b>社会福祉</b>  <b>協議会</b>	高齢者や障がい者の世帯の自立を図るための貸付、一般の交通手段が困難な方への移送サービス、日常的なお金の管理の相談、生活全般における悩みについては心配ごと相談等を行っています。	豊社会福祉センター内(袖ケ浦市飯富1604) <b>☎0438-63-3888</b> 平日8:30～17:15

## 災害チーム報告

### 1、今期の活動内容のまとめ

今年度は自分たちが災害チームとして活動していくにあたり、袖ヶ浦市の避難所の設備や備品について知らないことが多く、まず自分たちが学ぶ機会を設けた。コロナウィルスの影響で会議の延期が数回あり思ったように活動できない部分があったが、市役所防災安全課のメンバーの方を中心に避難所にあるダンボールベットや、テント、間仕切りを自分たちで組み立て実際に使用し、大変貴重な体験をすることができた。また、根形公民館の防災資材備蓄倉庫の見学をする機会があり、いろいろな備品があることに大変勉強になった。実際に体験することで、災害用品を身近に感じることができ、障がいを持った方が利用した場合を想定することができた。災害が発生した時に安心して避難してもらえるようにこの情報を多くの方に知ってもらえるよう「避難所体験」とまとめポスターを作成した。

### 2、活動経過

○第1回 令和3年5月28日（金）市役所 大会議室 11:00～12:00

出席者：8名

内 容：実務者会 今年度の活動について

○第2回 令和3年7月8日（木）市役所 小会議室 10:00～11:30

出席者：8名

内 容：避難所にある備蓄品の勉強会

○第3回 令和3年10月8日（金）市役所 大会議室 11:00～12:00

出席者：8名

内 容：実務者会 後期の活動について

○第4回 令和3年11月18日（木）社会福祉センター大会議室 根形公民館備蓄倉庫

13:30～15:00 出席者：8名

内容：避難所体験、備蓄倉庫見学

○第5回 令和3年12月17日（金）市役所 第2会議室 13:30～15:00

出席者：7名

内容：ポスター作成

### 提言

ポスターは完成したが掲示場所の確定や決定には至らなかった。来年度に引継ぎ掲示場所や方法について検討し、多くの方に見て頂けるようにしたい。また災害チームとしてどのようなことができるか今後の活動の方向性を考えていきたい。

# 避難所で使うダンボールベッド・間仕切り・テント

初めて  
体験したよー



わたしたちは袖ヶ浦市地域総合支援協議会 災害チームです。

地域総合支援協議会は、障がい者や障がい児への支援体制の整備や支援の取組みについて検討しています。

今回、避難所開設を体験してみました。

この取組みでわかったことや感じたことを皆さんに知ってもらい、災害が発生したときに役立てていただければと思います。



組み立て段ボール製ベッドだよ。  
床に直接横たわるよりもほころを  
吸い込むリスクが少なくなるよ。



災害対策用プライベートルーム。  
簡単に設営、収納できるよ。



- 段ボールだけ組み立てることができて簡単
- しっかりしてて床で寝るより断然快適
- 寝返りはできないかな
- ベンチにも使えると思う

- 周りからしきられててほっとする
- 作るときは簡単でしもうときが大変
- チャックで明るさと空調の管理ができる
- 出入口が広く天井が高いから車いすでも入りやすい



避難所用の間仕切りだよ。  
連結して部屋を増やしていくよ。



公民館などにある簡易備蓄倉庫。  
避難所開設に必要な最低限の  
食料や資機材等を備蓄してるよ。



- 何人かで協力しての組み立てが必要
- 組み立ては簡単だった
- 身長が低いと高いところが届かない
- カーテンが透けなくて安心できる

- いつでも使えるように定期的に点検されていて安心
- 50種類くらいの物が入っている
- 水だけでお米が食べられて安心
- 入ってるもののリストがあると分かりやすくっていいかな



## 普及啓発チーム 報告

### 1、今期の活動内容のまとめ

メンバーの思いを一つにするため、総合支援実務者会と普及啓発チームの成り立ちを知り、活動内容を模索することから活動を始めた。

現状の問題点を洗い出す中で、他チームの活動を紹介及びリンクして活動することも、普及啓発チームの活動であるとして活動した。

会長、大人チーム、災害チームの活動内容を聞き、普及啓発チームとしての活動を進めた。

### 2、活動経過

○ 第1回 6月14日（月） 10:00 ～ 11:15 嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦内会議室

出席者： 6名

内容： 普及啓発チームのリーダー、サブリーダーの選出

次回以降の活動内容をどのように進めるか話し合い、現状の問題点を抽出した。

○ 第2回 7月13日（火） 14:00 ～ 15:00 嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦内会議室

出席者： 7名

内容： 会長をお招きして、地域総合支援協議会の成り立ちをお話ししていただき、今後の活動の参考とした。

○ 第3回 10月8日（金） 11:00 ～ 12:00

袖ヶ浦市役所大会議室

出席者： 4名

内容： これまでの活動の進捗状況と今後の進め方について

○ 第4回 11月15日（月） 14:00 ～ 15:00

嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦内会議室

出席者： 5名

内容： 大人チームのリーダーをお招きして、大人チームの活動内容を紹介していただいた。

○ 第5回 12月21日（火） 13:30 ～ 14:30

嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦内会議室

出席者： 5名

内容： 災害チームのリーダーをお招きして、災害チームの活動内容を紹介していただいた。

### 3、提言

他チームの活動内容を通して、特に災害が発生したときの一時避難、又は避難所での生活等、「災害チーム」の活動内容が参考となり、福祉フェスタ等を利用して実践に即した活動も、普及啓発につながるのではないかと感じた。

## 障がいのある方が外出しやすい街づくりチーム 報告

### 1、今期及び後期の活動内容のまとめ

新型コロナウイルス感染拡大により、近隣の感染拡大、各事業所の感染状況及び業務の都合により例年どおりの開催が出来ず、実務者会全体会の参加のみとなった。

### 2、活動経過

- 実務者会全体会      5月28日（金）    11：00 ～ 12：00

袖ヶ浦市役所 旧館3階大会議室

出席者：6名

内 容：（1）今年度活動報告  
          （2）リーダー選出

- 実務者会全体会      10月8日（金）    11：00～12：00

袖ヶ浦市役所 旧館3階大会議室

出席者：6名

内 容：（1）進捗状況確認  
          （2）その他

### 3、提 言

昨年度より作成していた袖ヶ浦市内の公共機関及び交通機関マップは昨年3月にホームページにアップされた。

今年度は、外出する際、障害のある方が利用できる外出サービスや移動支援について確認し、サービスをどうすればスムーズに受けることが出来るか、手順を見てわかるものを作成できれば良いのではないかと、チーム内で確認した。

コロナ禍であるからこそ、安全・安心して外出できるよう来年度は実現に向けて、活動できればと考える。

袖ヶ浦市地域総合支援協議会会長 様

# 報 告 書 (案)

令和4年3月15日

袖ヶ浦市地域総合支援協議会相談支援部会

## 1、前期の活動内容のまとめ

今年度、市内の新規事業所の相談支援事業所GROWを新たにメンバーとして迎えて部会を行いました。月一回の開催を予定しましたが、新型コロナウイルスの影響で3回ほど中止としました。

部会は、勉強会と近況の情報共有を組み合わせる形で行いました。

勉強会は、障害福祉サービスの報酬改定があった為、5月に相談支援業務や事業所運営に欠かせない加算の確認等を行いました。6月、8月、11月は、相談支援専門員を支えていく仕組みとして有効なグループスーパービジョンの体験、10月は地域福祉課の担当者を講師として「8050問題・ひきこもり支援」を学びました。その他、7月に圏域に新しく開所した事業所の方にお越しいたいて、事業所説明を受けました。

また参加メンバーから近況報告を行って情報共有を図りました。その中で、各相談支援事業所から新規ケースの依頼が来てもなかなか受けられない状況があるという話がありました。

ニーズに対して圏域全体として相談支援事業所や相談支援専門員が不足しており、袖ヶ浦市の相談支援体制の課題としての認識が高まりました。

## 2、活動報告

- 第1回 4月15日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所旧館3階中会議室  
出席者 8名  
内 容 今年度の活動について、部会長・副部会長の決定、近況の情報共有
- 第2回 5月13日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所旧館3階中会議室  
出席者 8名  
内 容 勉強会(令和3年度障害福祉サービス等報酬改定について)、近況の情報共有
- 第3回 6月17日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所旧館3階中会議室  
出席者 8名  
内 容 勉強会(グループスーパービジョン)、近況の情報共有
- 第4回 7月15日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所旧館3階中会議室  
出席者 7名  
内 容 事業所紹介(安心ハウス絆・株式会社CO-GII)、近況の情報共有
- 第5回 8月19日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所旧館3階中会議室 ※中止
- 第6回 9月16日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所旧館3階中会議室 ※中止
- 第7回 10月14日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所旧館3階中会議室  
出席者 7名  
内 容 勉強会(8050問題・ひきこもり支援について)、近況の情報共有
- 第8回 11月18日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所旧館3階小会議室  
出席者 7名  
内 容 勉強会(グループスーパービジョン)、近況の情報共有
- 第9回 12月16日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所旧館3階中会議室  
出席者 6名  
内 容 勉強会(モニタリングに関して)、近況の情報共有

○第 10 回 1 月 13 日（木）10：00～12：00 袖ヶ浦市役所旧館 3 階中会議室

出席者 7 名

内 容 勉強会（グループスーパービジョン）、近況の情報共有

○第 11 回 2 月 17 日（木）10：00～12：00 袖ヶ浦市役所旧館 3 階中会議室 ※中止

## 2、提言

次年度も月 1 回定期的に開催し、勉強会、情報交換やケース検討会を行なっていきたい。

また現在の相談支援事業所の現状や袖ヶ浦市の相談支援体制なども検討し、相談支援の充実を図って  
いきたい。

袖ヶ浦市相談支援事業所の実績報告等について

新規ケースの内訳（令和 3 年 4 月～令和 4 年 2 月）

	新規ケース	その後の継続相談	障がい者支援課からの相談経路	関係機関からの相談経路
身体	3	2	1	高…1 サ…1
身体・児童				
重心				
知的	5	5	2	児相…1 相談…2
知的・児童	7	4	3	児相…1 学校→1
精神	24	11	10	地…1 病院…1 相談2
精神・児童	1	1		
発達	4	2	2	病院…1
発達・児童	3	1		
高次脳機能				
他	2		1	
他・児童	5	4		
難病				
不明	8	6	5	その他…1
不明・児童	1			
非該当	1	1	1	
合計	64			

※他…障害あり      不明…障害があるかも分からない  
※地→地域福祉課    高→高齢者支援課    児相→児童相談所    相談→相談支援事業所  
サ→障害福祉サービス事業所

新規ケース 64 件の内、3 障害でケース内訳は、身体障害 3 ケース、知的障害 12 ケース、精神障害 25 ケースとなっている。3 障害で全体の 62% 占めている。昨年度は 3 障害で 83%

であった為、3 障害の割合は減少している。その分、その他や不明の方の割合について、昨年度は 3 件だったが、今年度は 17 件となっており、福祉サービスに繋がっていなかった方や児童でこれから福祉サービスを利用する方の割合が増加傾向にある。

その後の継続相談とは、新規ケースの内、初回の相談で解決せず継続的に相談を続けたケースを表す。全体で見ると 56%（36 ケース）が継続相談しており、身体 2 ケース、知的 9 ケース、精神 12 ケース、発達 3 ケース、他・不明 10 ケース継続相談がなされている。継続相談の割合では身体 5.4%、知的 25%、精神 33.4%、発達 8.2%、他・不明 28%となっている。また初回のみ相談は、サービスの利用など事業所の紹介等で複数回の相談に至らないケース、家族からの連絡を待っているケースがある。

障がい者支援課からの相談経路とは、直接当相談所に来所せず、障がい者支援課の窓口を経由してくる相談のケースを表す。窓口での対応が困難な場合や専門性が高い場合などのケースの相談経路となっている。

障がい者支援課と当相談所が密接な環境が整っているから出来る事であり、相談者にとっても出直しをせず、流れを止めずに出来る為、相談がしやすいと思われる。また、障がい者支援課の担当者が同席するケースもあり、相談が迅速に進む事が出来る等、連携のとれやすい関係となっている。

今年度においても、地域福祉課、高齢者支援課からの相談経路もあった。また相談支援事業所や病院、児童相談所等の関係機関からの相談もあり、関係機関からの相談経路が増えている。

市内の相談支援事業所が不足しており、サービスを利用したいと思った時に相談支援事業所が引き受けられない状況があり、本年度においては、計画相談の相談支援事業所が見つからないという相談が多くあった。

ケース検討会議

※添付の数字は件数

期 日	件数	新規障害別内訳	継続	情報共有
4月 2日(金)	12	知1、精1、不明1	身1、精4	知3、精1
4月 9日(金)	9	身1、精1	身1、知2、精2、不明1	精1
4月16日(金)	8		身1、知5、精2	
4月23日(金)	5	精1	知2、精1	知1
4月30日(金)	6		知3、精3	
5月14日(金)	7	知2、精2、他1	知1、精1	
6月 4日(金)	13	身1、精3、他1	知3、精3、発1、他1	
6月18日(金)	12	知1、精1、知1	身2、知2、精3、発1、他1	
7月 2日(金)	9	精1、他1	身1、知3、精2	知1
7月 9日(金)	6	精1	知3、精1、発1	
7月16日(金)	6	精1、発1	知2、精1、発1	
7月30日(金)	9		知3、精3、他1	精1、不明1
8月 6日(金)	6	精1	重心1、知2、精1、発1	
8月20日(金)	11	他1	知6、発1	精1、他2
8月27日(金)	6	他1	知2	発1、他2
9月10日(金)	10	精1、発1	知2、精4、発1	他1
9月24日(金)	11	精2、発1	身1、知4、精2、発1	
10月15日(金)	13	他2	重心1、知3、精5	身1、他1
10月22日(金)	13	身1、知1、精1	重心1、知3、精2、発1、他1	身1、高次脳1
10月29日(金)	11	知1、精1	重心1、知2、精3	知1、精1、他1
11月 5日(金)	13	精1、発2、他1	知2、精3	発1、他3
11月12日(金)	9	発1	知1、精3、他2	身1、他1
11月19日(金)	7	身1、知1、他1	精1、知1、他1	他1
11月26日(金)	8	知1	身1、重心1、知2、他2	他1
12月 3日(金)	8	知1、不明1	身1、知2、精1、発1	精1
12月10日(金)	9	知1	身1、知4、精2	他1
12月17日(金)	8	発1	身1、知1、精4、発1	
12月24日(金)	11	他2	身2、知2、精4、他1	
1月 7日(金)	8		身1、知2、精2、発2、他1	
1月14日(金)	13	精2	身1、知1、精4、発1、他1	身1、発1、他1
1月21日(金)	13	知1、他1	身1、知3、精4、発1、他1	知1
1月28日(金)	11	知2、精1	身1、知1、精2、他1	知2、他1
2月 4日(金)	12	他3	知3、精4、発2	
2月18日(金)	16	知1、他2	知2、精7、発1、他1	他2
2月25日(金)	11	知1、精1	重心1、知2、精4、他1	他1

会議・研修・同行・訪問・啓発  
(令和3年4月～令和4年2月)

期 日	内 容	会場・研修、同行、訪問先
令和3年 4月 8日(木)	訪問	自宅
令和3年 4月14日(水)	見学同行	グループホーム
令和3年 4月26日(月)	見学同行	グループホーム
令和3年 4月27日(火)	訪問	病院
令和3年 5月 7日(金)	見学同行	グループホーム
令和3年 5月14日(金)	支援会議	特別支援学校
令和3年 5月31日(月)	支援会議	市役所
令和3年 6月10日(木)	訪問	自宅
令和3年 6月22日(火)	訪問、見学同行	自宅、就労継続支援B型事業所
令和3年 6月29日(火)	訪問	自宅
令和3年 6月30日(水)	見学同行	グループホーム
令和3年 7月 5日(月)	支援会議	障害児入所施設
令和3年 7月21日(水)	支援会議	障害者支援施設
令和3年 8月10日(火)	支援会議	障害者支援施設
令和3年 8月31日(火)	支援会議	障害者支援施設
令和3年 9月 9日(木)	訪問	自宅
令和3年 9月14日(火)	支援会議	市役所
令和3年 9月16日(木)	見学同行	生活介護事業所
令和3年10月28日(木)	訪問	自宅
令和3年11月 2日(火)	訪問	自宅
令和3年11月 2日(火)	訪問	自宅
令和3年11月11日(木)	訪問	保健所
令和3年11月12日(金)	訪問	自宅
令和3年11月29日(月)	支援会議	病院
令和3年11月30日(火)	訪問	自宅
令和3年12月 9日(木)	訪問	自宅
令和3年12月14日(火)	訪問	自宅
令和3年12月14日(火)	面談同行	障害者就業・生活支援センター
令和3年12月16日(木)	見学同行	就労継続支援B型事業所
令和3年12月22日(水)	訪問	自宅
令和4年1月12日(水)	支援会議	グループホーム
令和4年1月25日(火)	訪問	自宅
令和4年1月27日(木)	訪問	自宅
令和4年2月 1日(火)	支援会議	病院
令和4年2月 8日(火)	支援会議	特別支援学校
令和4年2月 8日(火)	見学同行	就労継続支援B型事業所

## 袖ヶ浦市障害者相談支援事業所「えがお袖ヶ浦」の活動実績について

### ○令和3年度実績(令和3年4月～令和4年2月)

	身体障害	重度心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	計
訪問	3	0	1	8	1	0	2	15
来所相談	3	3	26	43	14	0	11	100
同行	1	0	5	3	0	0	0	9
電話相談	17	3	44	77	14	1	35	191
電子メール	0	0	4	0	0	0	0	4
個別支援会議	25	6	108	121	30	2	54	346
関係機関	21	8	111	78	15	0	36	269
その他	0	0	0	4	0	0	1	5
計	70	20	299	334	74	3	139	939
対前年比	41	17	134	152	56	3	109	512

### 【参考】

### ○令和2年度実績(令和2年4月～令和3年2月)

	身体障害	重度心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	計
訪問	0	0	2	4	0	0	0	6
来所相談	7	1	16	33	5	0	4	66
同行	0	0	9	4	0	0	0	13
電話相談	4	1	31	40	1	0	6	83
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	11	1	62	76	9	0	14	173
関係機関	7	0	43	25	3	0	6	84
その他	0	0	2	0	0	0	0	2
計	29	3	165	182	18	0	30	427
対前年比	△ 6	3	6	△ 12	△ 6	0	△ 5	△ 20

### ○令和元年度実績(平成31年4月～令和2年2月)

	身体障害	重度心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	計
訪問	2	0	4	10	0	0	0	16
来所相談	7	0	24	31	6	0	9	77
同行	0	0	3	4	0	0	0	7
電話相談	8	0	21	45	5	0	4	83
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	11	0	73	74	11	0	15	184
関係機関	7	0	32	28	2	0	6	75
その他	0	0	2	2	0	0	1	5
計	35	0	159	194	24	0	35	447
対前年比	△40	0	△ 54	△ 153	△ 16	△ 7	3	△ 267

# 地域生活支援拠点の整備について

障がい者又は障がい児の重度化・高齢化や同居家族の死亡等による介護者不在の状況に備え、障がい者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、袖ヶ浦市基幹相談支援センターがコーディネーターの役割を担い、地域の事業所が機能を分担し協力して支援を行う体制を整備します。

## ①相談

緊急時の支援が見込めない世帯を事前に把握・登録したうえで、連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等に必要な相談等の支援を行います。

※当面は平日9時～17時にて対応します。  
夜間休日対応の需要が増えてきた時点で  
対応方法を再度検討します。

## ②緊急時の受け入れ・対応

介護者の急病や障害者の状態変化等に対して、短期入所等を活用した緊急時の受入等の必要な対応を行います。

## 袖ヶ浦市基幹相談支援センター

**中核的な機関としてコーディネーターの役割**  
を担います。

## ③体験の機会・場

親元からの自立等に当たって、共同生活援助等の障害福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供します。

## ④専門的人材の確保・養成

専門的な対応を行うことができる体制の確保や、専門的な対応ができる人材の養成を行います。

## ⑤地域の体制づくり

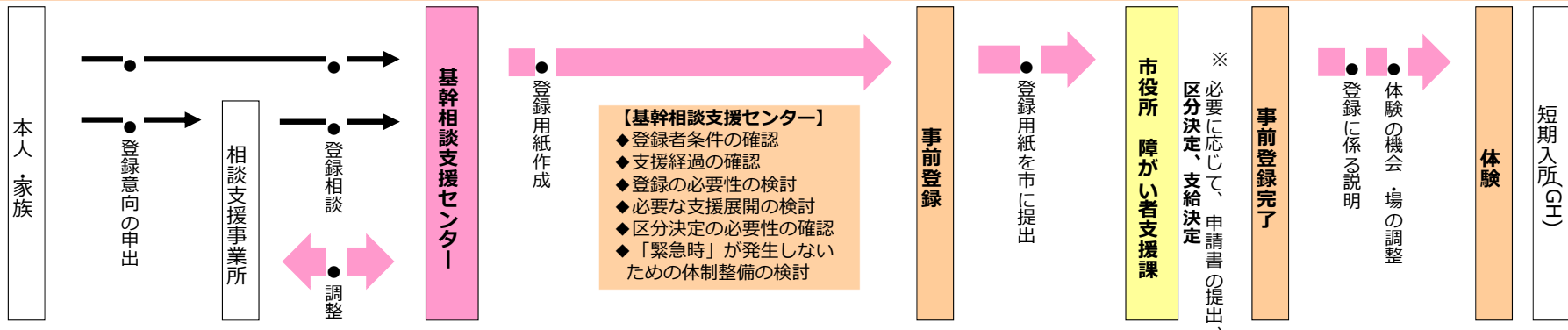
地域の様々なニーズに対応できるサービス提供体制の確保や、地域の社会資源の連携体制の構築等を行います。

- 地域生活支援拠点事業では、原則、5つの機能すべてを備えることとされていますが、地域の実情を踏まえ、必要な機能や**その機能の内容の充足の程度**については、市町村が判断します。
- 袖ヶ浦市では、既に「④専門的人材の確保・養成」「⑤地域の体制づくり」の機能を袖ヶ浦市基幹相談支援センターが部分的に担っていることから、重要度が高いと考える「①相談」「②緊急時の受け入れ・対応」「③体験の機会・場」の機能について**段階的に整備すること**とし、令和4年度から本事業を開始します。
- 「②緊急時の受け入れ・対応」では、市役所の緊急連絡体制などの**既存ネットワーク**を活用して、基幹相談支援センターや障がい者支援施設等と連携し対応します。今後、登録者の増加や夜間休日対応の需要が増えてきた時点で、常時の体制整備について検討します。

地域生活支援拠点事業では、緊急時に備えて個々の事情に応じた支援を行うため、障がいのある方の事前の登録が必要です。

### ◆登録できる方

袖ヶ浦市に在住し、袖ヶ浦市が援護の実施主体となる在宅で生活する障がい者等とし、短期入所等に係る支給決定を受けている方（これから受ける方）。



- 令和4年度は、まずは拠点に係る機能を担う事業所を増やす取組みや、予防的対応という観点から、利用者の緊急時の受入れ対応に係る相談や事前登録、短期入所の体験的な利用などに取り組みます。